

# 水環境におけるマイクロプラスチックに関する最新の動向

海洋ごみの多くがプラスチックで、分解性が低く、環境中に長く留まることが指摘されてきましたが、近年、プラスチックが細片化されたマイクロプラスチックの存在が明らかとなってきました。マイクロプラスチックは、海洋中ではごく低濃度でしか存在しない有害性の高い化学物質を吸着し、濃縮することも明らかになりつつあり、摂取した魚や鳥などにこれらの有害な化学物質が移行することも分かってきました。しかし、マイクロプラスチックを水環境中から検出、定量することは大変難しく、世界的な汚染実態や、水環境中における動態、生物や人への影響については明らかになっていない事が多いです。本セミナーではマイクロプラスチックに関する最新の研究成果を最先端で活躍する4名の講師から話題提供をいただきます。本セミナーはテレビ会議システムにより、東京と大阪で同時に開催します。

主催：公益社団法人 日本水環境学会

期日：2017年8月4日(金)10:50~16:30

場所：東京会場：[地球環境カレッジホール\(いであ\(株\)内\)](#) (東京都世田谷区駒沢)  
大阪会場：[いであ\(株\)大阪支社 ホール](#)(大阪市住之江区南港北)



## プログラム

10:20~ 受付

10:50~ 開会挨拶

11:00~ **プラスチックと化学物質汚染** 東京農工大学農学部 高田秀重(東京会場)  
マイクロプラスチックの原因となるプラスチックをはじめとする海洋漂流物のモニタリングの現状から、マイクロプラスチックと化学物質汚染について全体的に話題提供いただきます。

12:00~ 昼休み

13:00~ **漂着物の現状とモニタリングの課題** 愛媛大学工学部 日向博文(東京会場)  
プラスチックを含めた海洋漂流物に関する様々な知見から、漂着物の現状とモニタリングの課題や対策についてわかりやすく講演していただきます。

14:10~ **マイクロプラスチックの海域汚染の状況**  
マイクロプラスチックの汚染状況について、我が国の近海における調査結果に加え、他の海域の結果とも比較しながら講演いただきます。  
九州大学大気海洋環境研究センター 磯辺篤彦(東京会場)

15:20~ **マイクロプラスチックの淡水域汚染の状況**  
世界的に知見の少ない淡水域、特に琵琶湖流域におけるマイクロプラスチック汚染の現状を最新の調査結果に基づき講演いただきます。  
京都大学大学院地球環境学堂 田中周平(大阪会場)

16:20~ 閉会挨拶 ※ 講師の都合等で一部変更となる場合があります。

参加費：一般 3,000 円, 大学生 1,000 円, 高校生以下無料(税込, 資料代含む)

定員：250名(東京会場150名, 大阪会場100名)

申込方法：FAX, E-mail, 参加申込書またはハガキに①参加者氏名(フリガナ)②会員・非会員の別③会員の場合は会員番号④希望受講会場⑤連絡先(所属団体名, 住所, 電話, FAX 番号および E-mail)をご記入の上, 下記宛お申し込み下さい。なお, 定員に達した場合は受付を終了させていただきます。また, 参加費を7月28日までにお振り込み下さい。入金を確認後, 参加証(ハガキ)をお送りいたします。

参加費振込先：三菱東京UFJ銀行 市ヶ谷支店(普通) 0754950  
公社)日本水環境学会セミナー口  
シャ)ニホンミズカンキョウガツカイセミナーグチ

申し込み・問い合わせ先： 公社)日本水環境学会 セミナー係 戸川  
〒135-0006 東京都江東区常盤 2-9-7 グリーンプラザ深川常盤 201号  
Tel. 03-3632-5351 Fax. 03-3632-5352  
E-mail: togawa@jswe.or.jp